

第6章

消費者余剰と生産者余剰

この章で学ぶこと:

- ④ 市場が存在することで、生産者と消費者はどれだけ利益を得られるか?
- ④ 市場価格の変化は消費者厚生と生産者厚生にどんな影響を与えるか?
- ④ これらの概念が需要曲線と供給曲線との関係はどうなるのか?
 - 消費者余剰
 - 生産者余剰
 - 費用
 - 市場の失敗

消費者余剰と需要曲線

個別消費者余剰

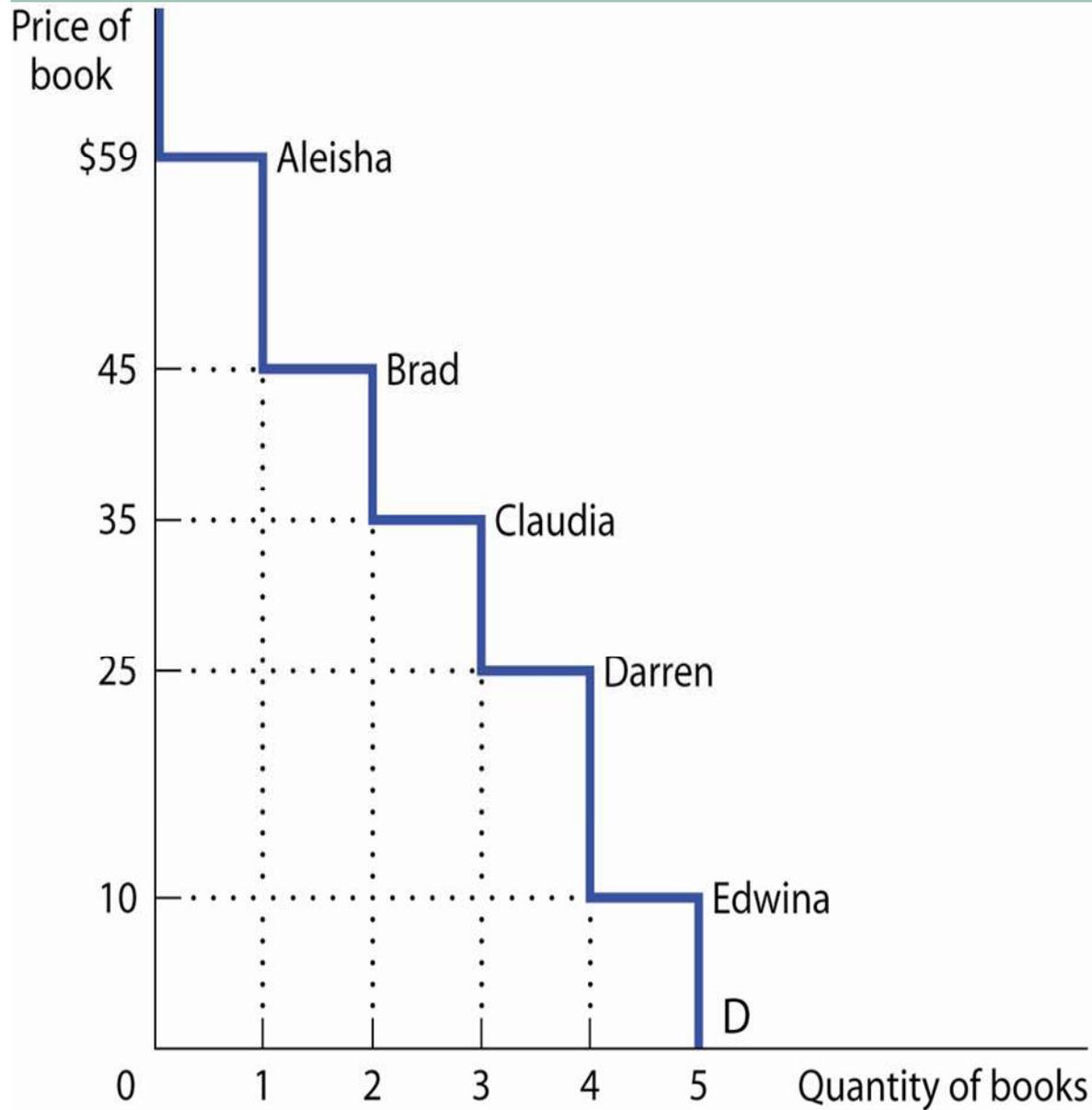
財の購入から個々の買い手が得る純便益

= その買い手の支払い意欲額と支払い価格の差

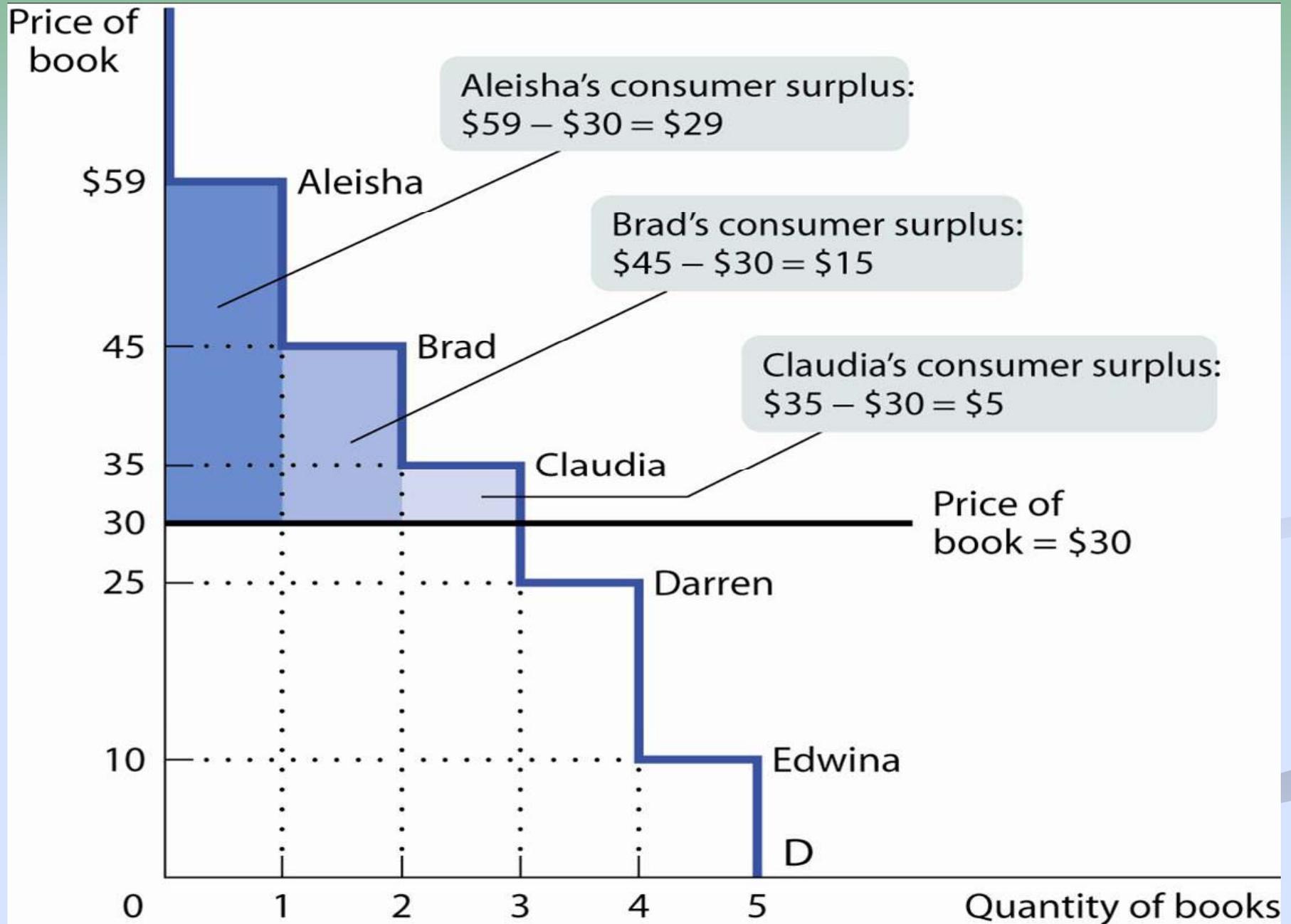
総消費者余剰

財の買い手の個別消費者余剰を全員分合計したもの

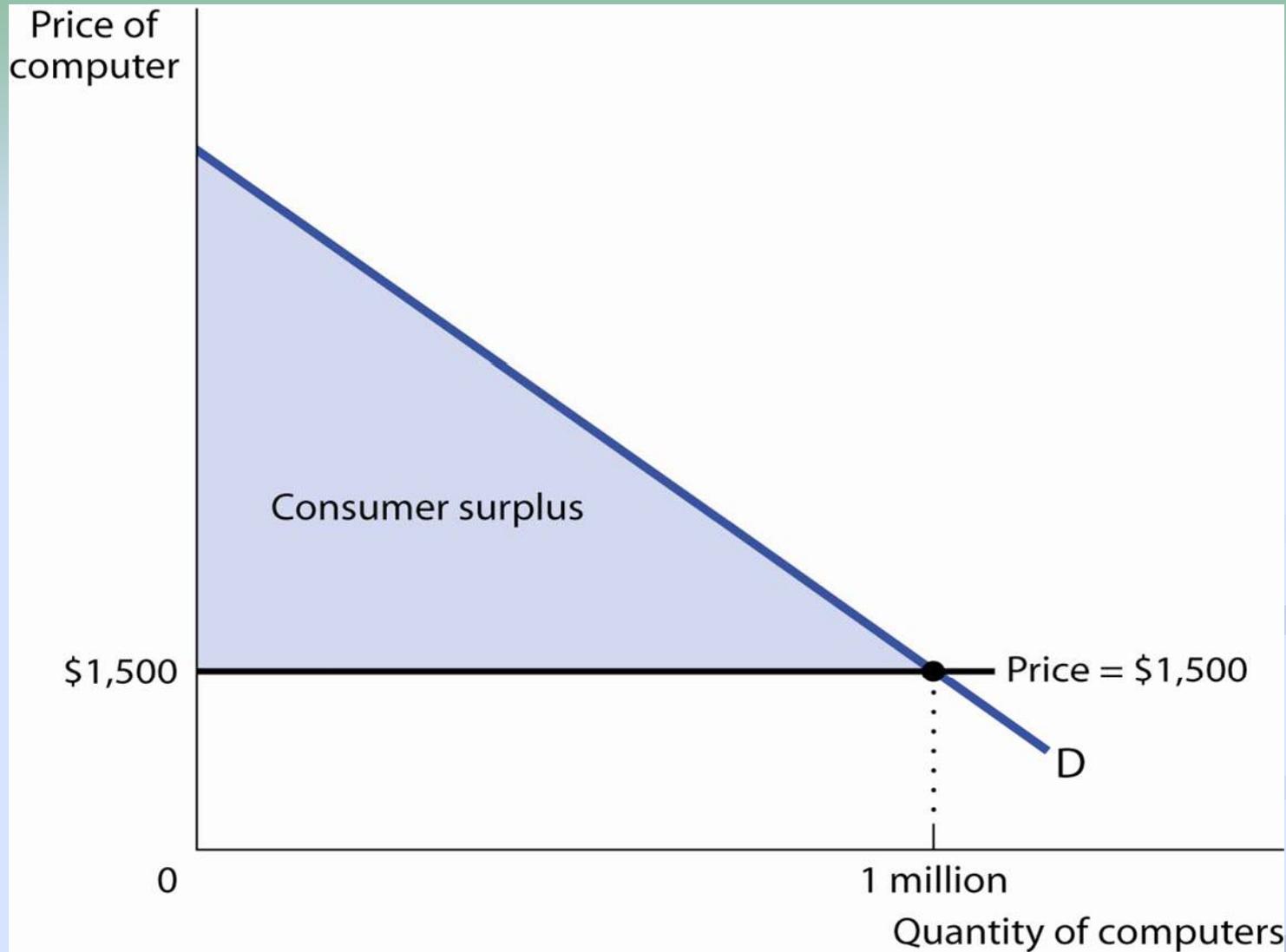
中古教科書の需要曲線



Potential buyers	Willingness to pay
Aleisha	\$59
Brad	45
Claudia	35
Darren	25
Edwina	10

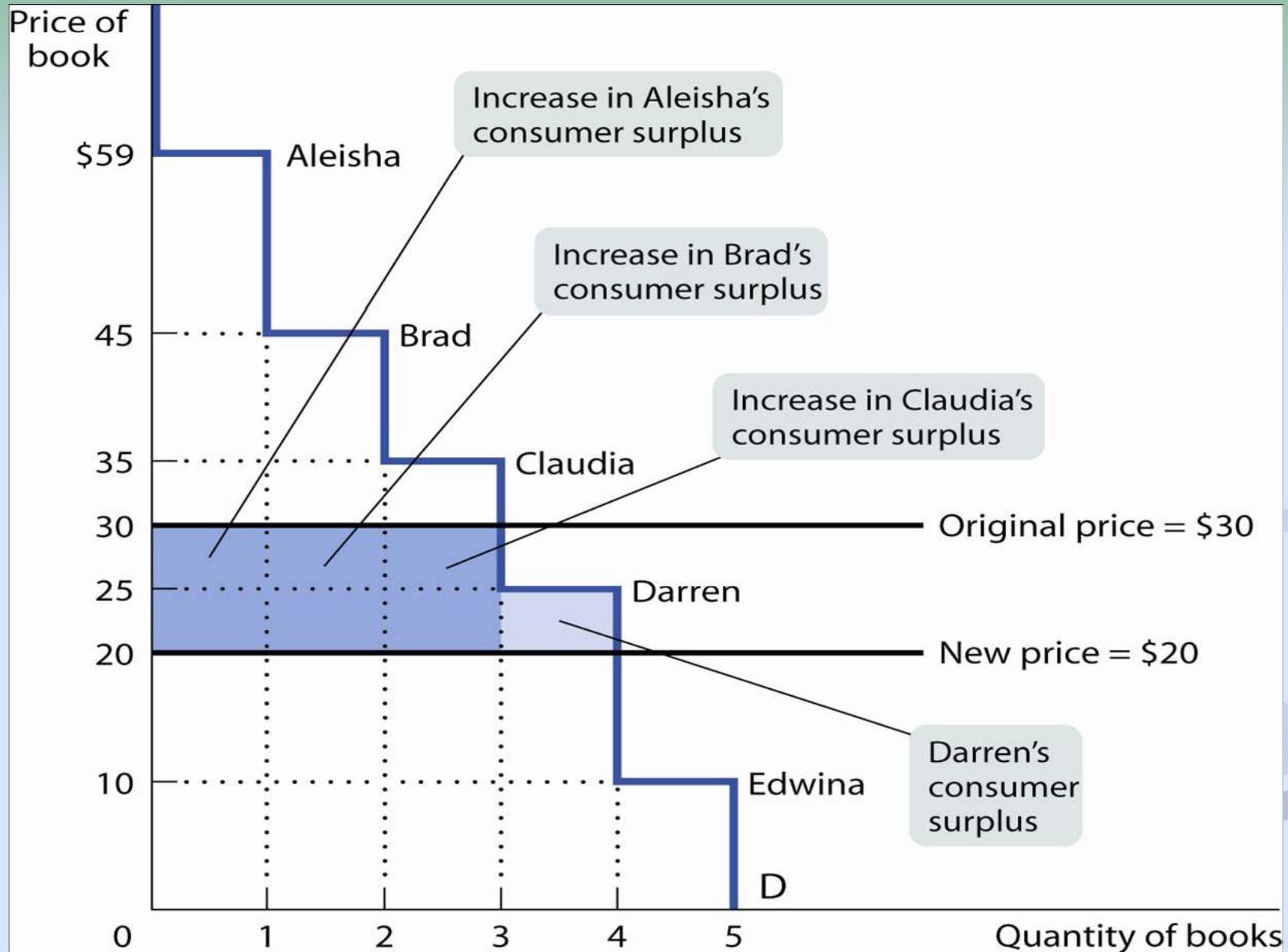


消費者余剰

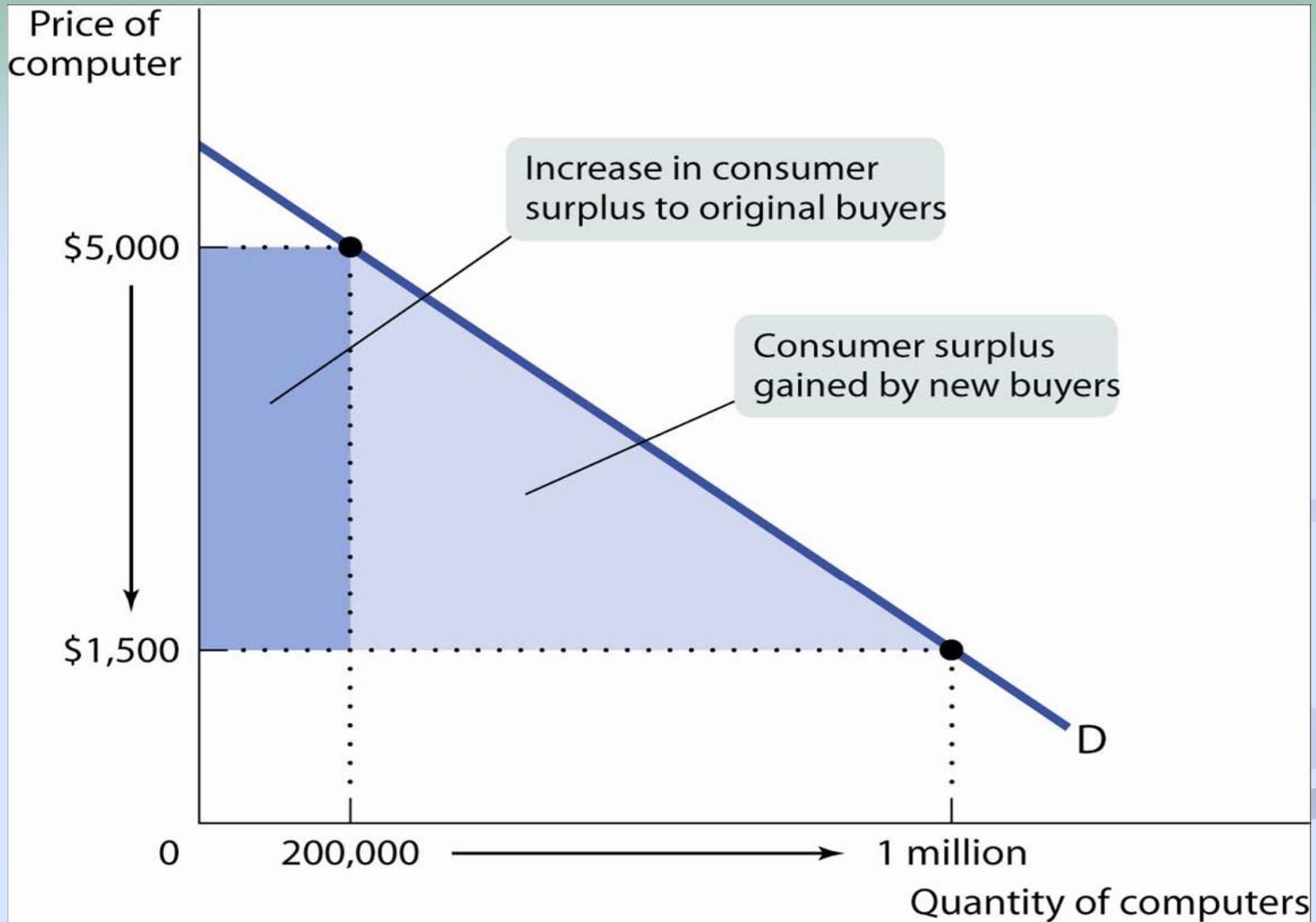


ある価格水準で財を購入したときに得られる消費者余剰は需要曲線の下側で価格より上側の領域の面積に等しい。

中古教科書価格の下落



市場価格の下落は消費者余剰を増加させる



生産者余剰と供給曲線

潜在的な売り手の費用

売り手がその財を売ってもよいと思う最低価格

(費用: 機会費用含む)

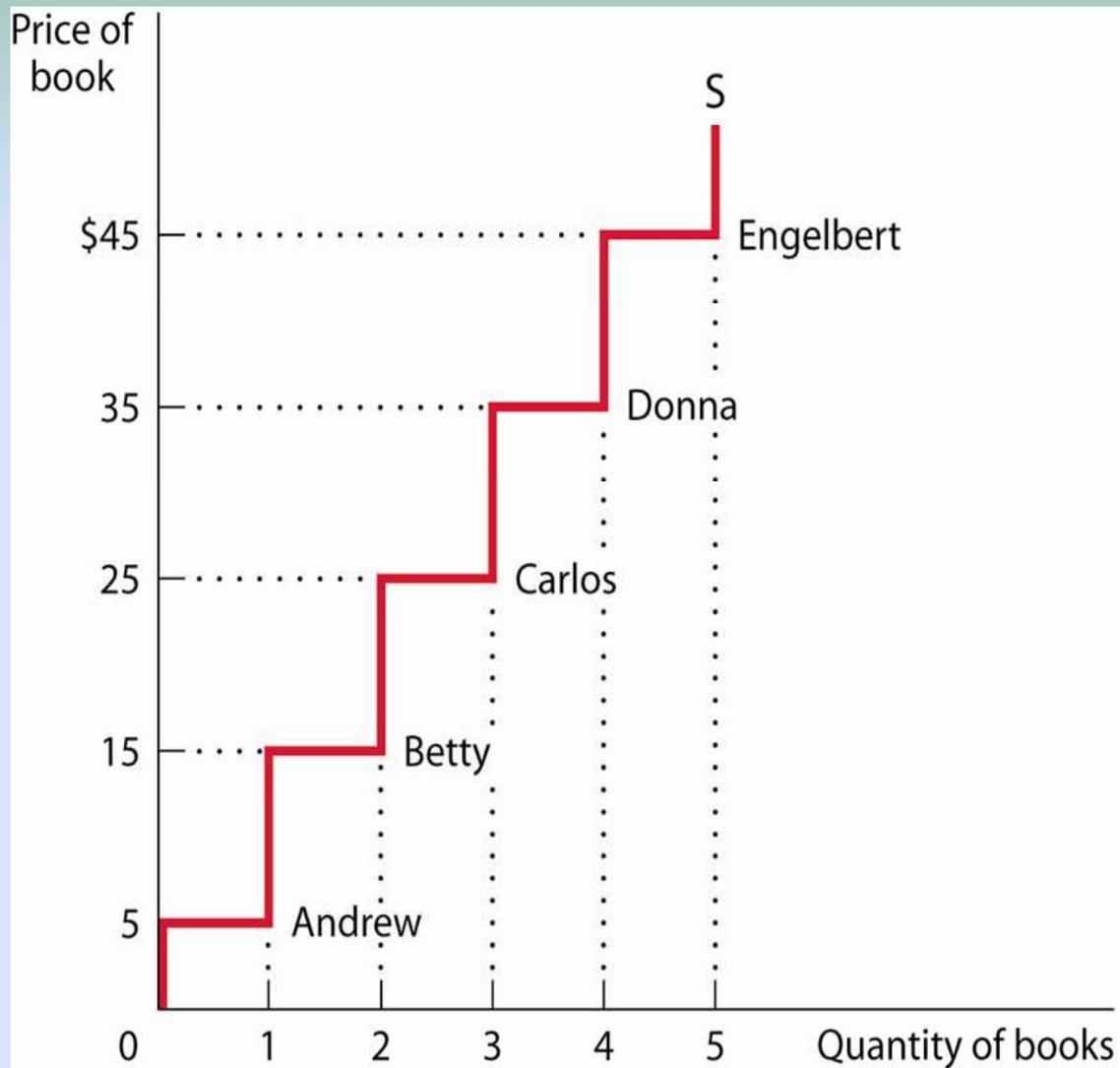
個別生産者余剰

財を売ることから、個々の売り手が得る純便益

総生産者余剰

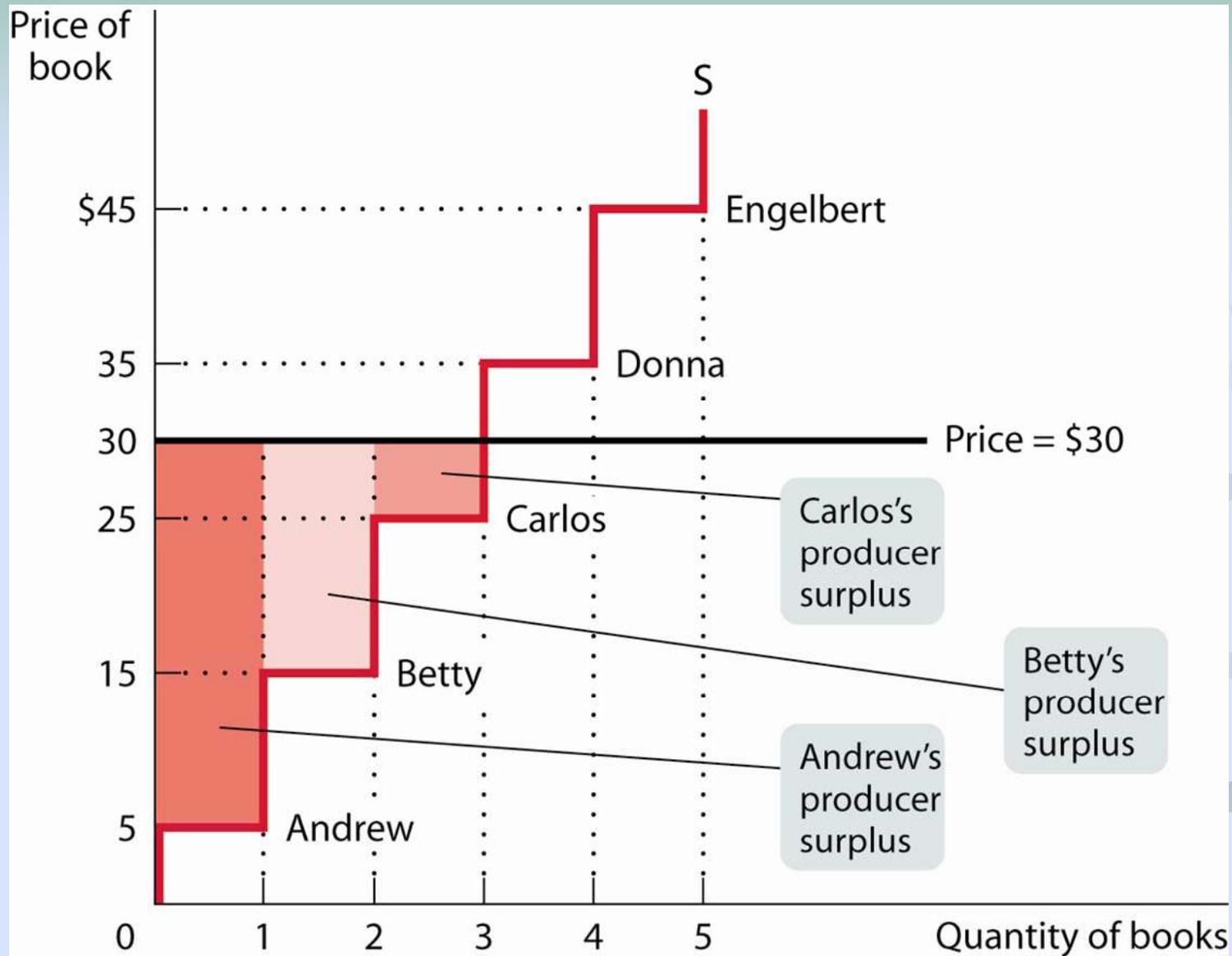
財の売り手の個別生産者余剰を全員分合計したもの

中古教科書の供給曲線

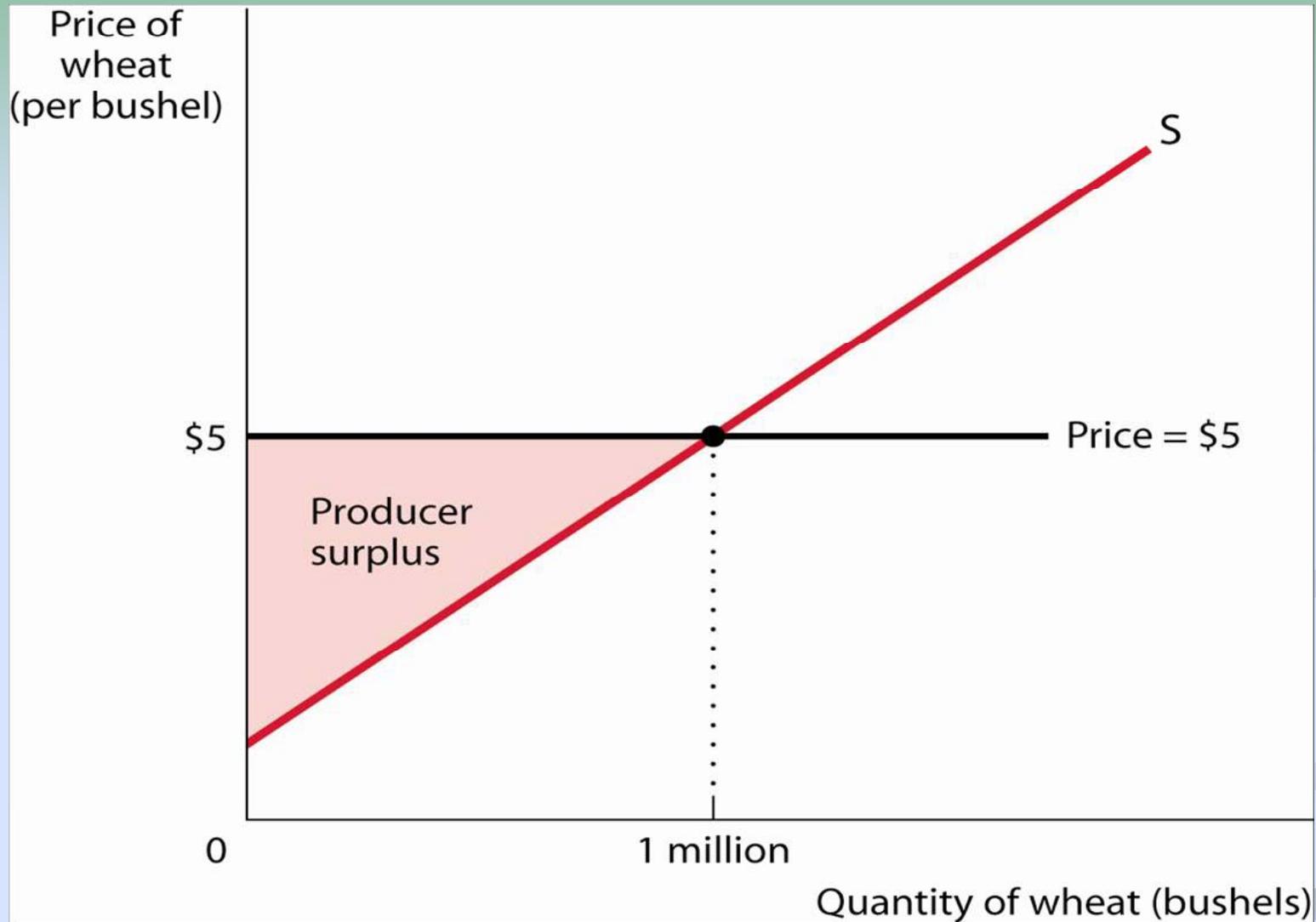


Potential sellers	Cost
Andrew	\$5
Betty	15
Carlos	25
Donna	35
Engelbert	45

中古教科書市場の生産者余剰

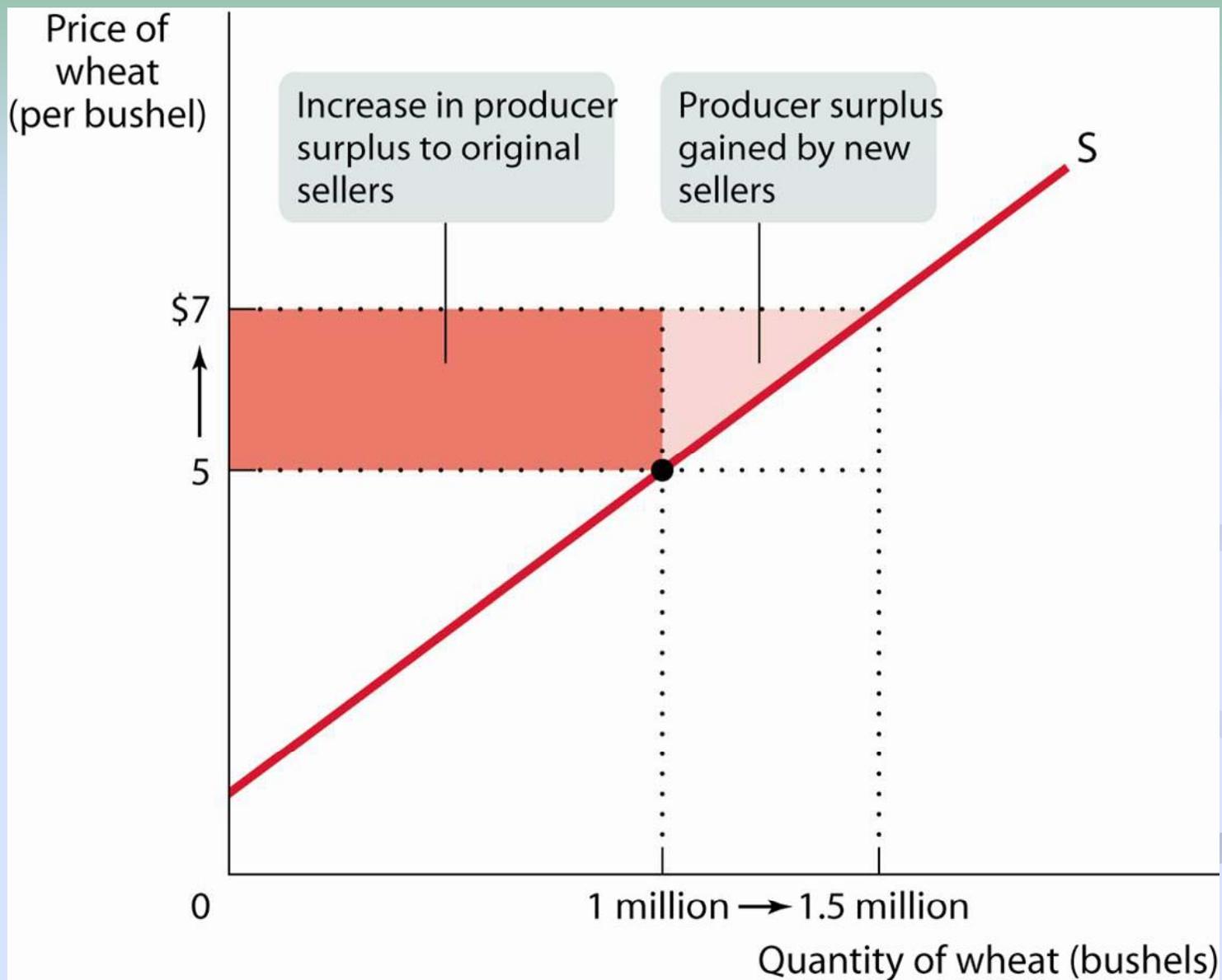


生産者余剰



ある財はある既知価格での生産者余剰は供給曲線より上側で価格より下側の面積に等しい。

価格上昇は生産者余剰を増加させる



総余剰と取引利益(第1章参照)

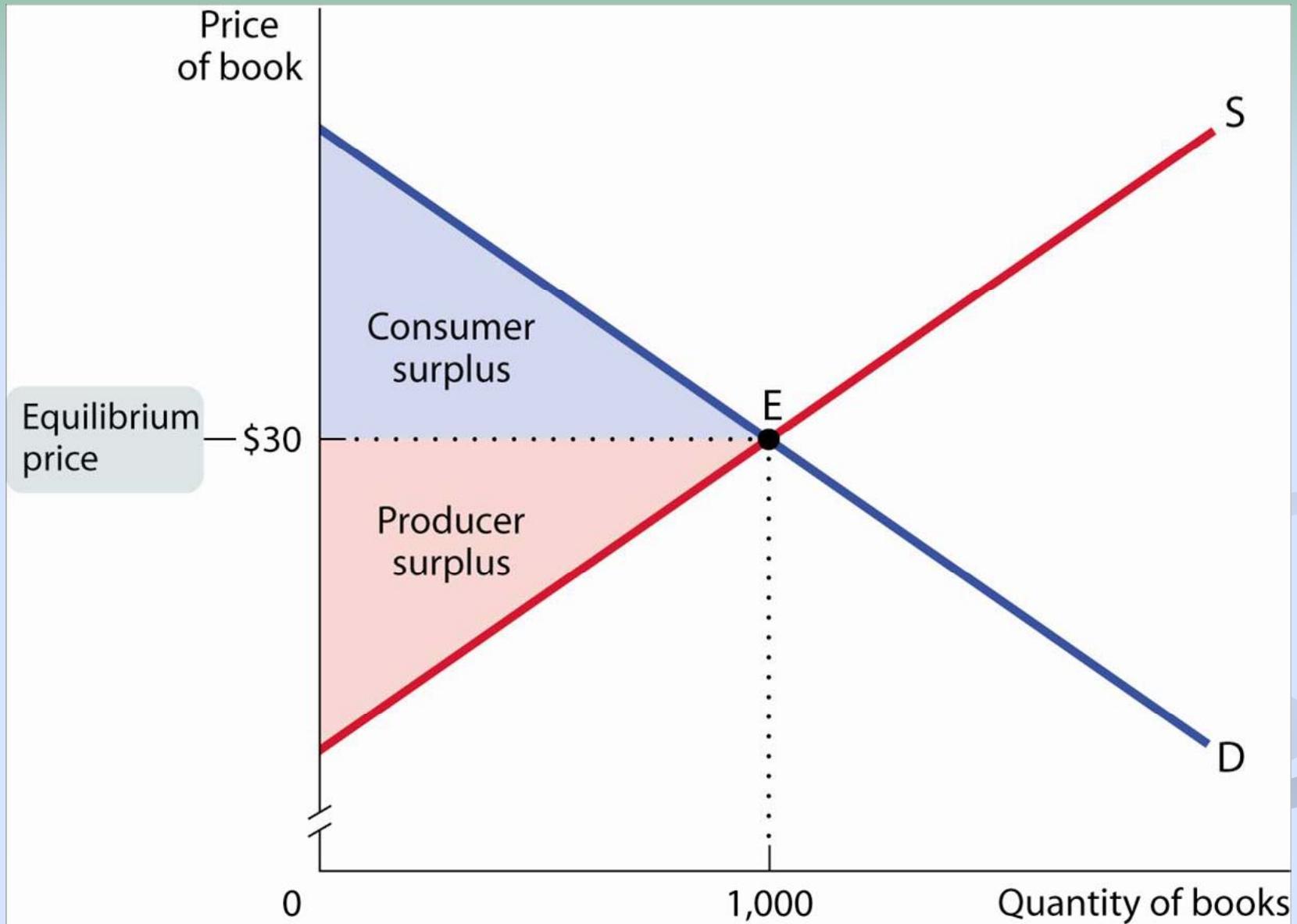
市場総余剰

消費者と生産者が市場取引から得る総純便益
＝生産者余剰＋消費者余剰

この財の市場が存在することによって、消費者と生産者両方の状態がよくなっている

→取引収益が存在

総余剰



市場の効率性(第1章参照)

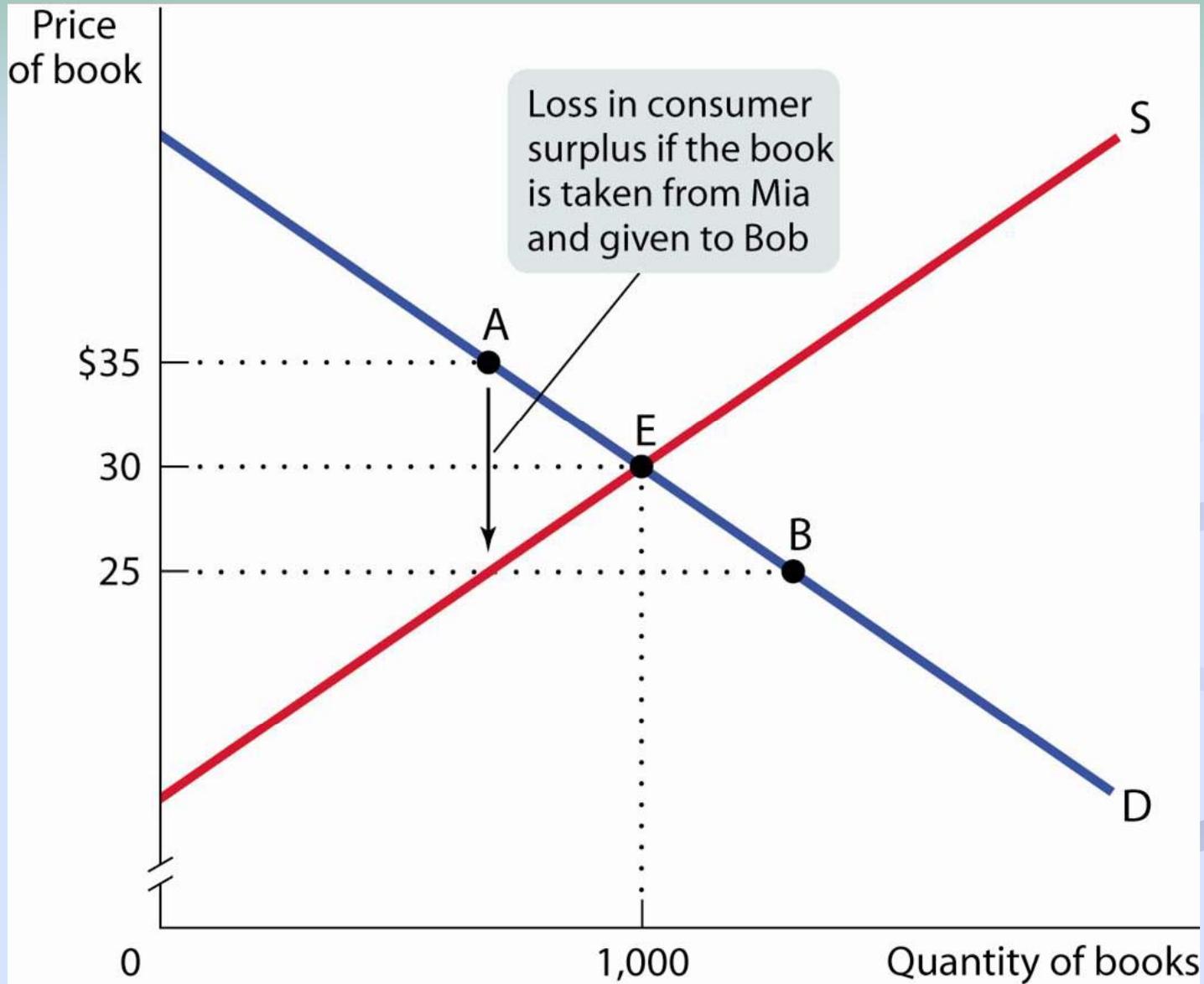
市場は効率的である

市場均衡では、他の人々の状態を悪くさせることなく、ある人の状態をよくする方法はない

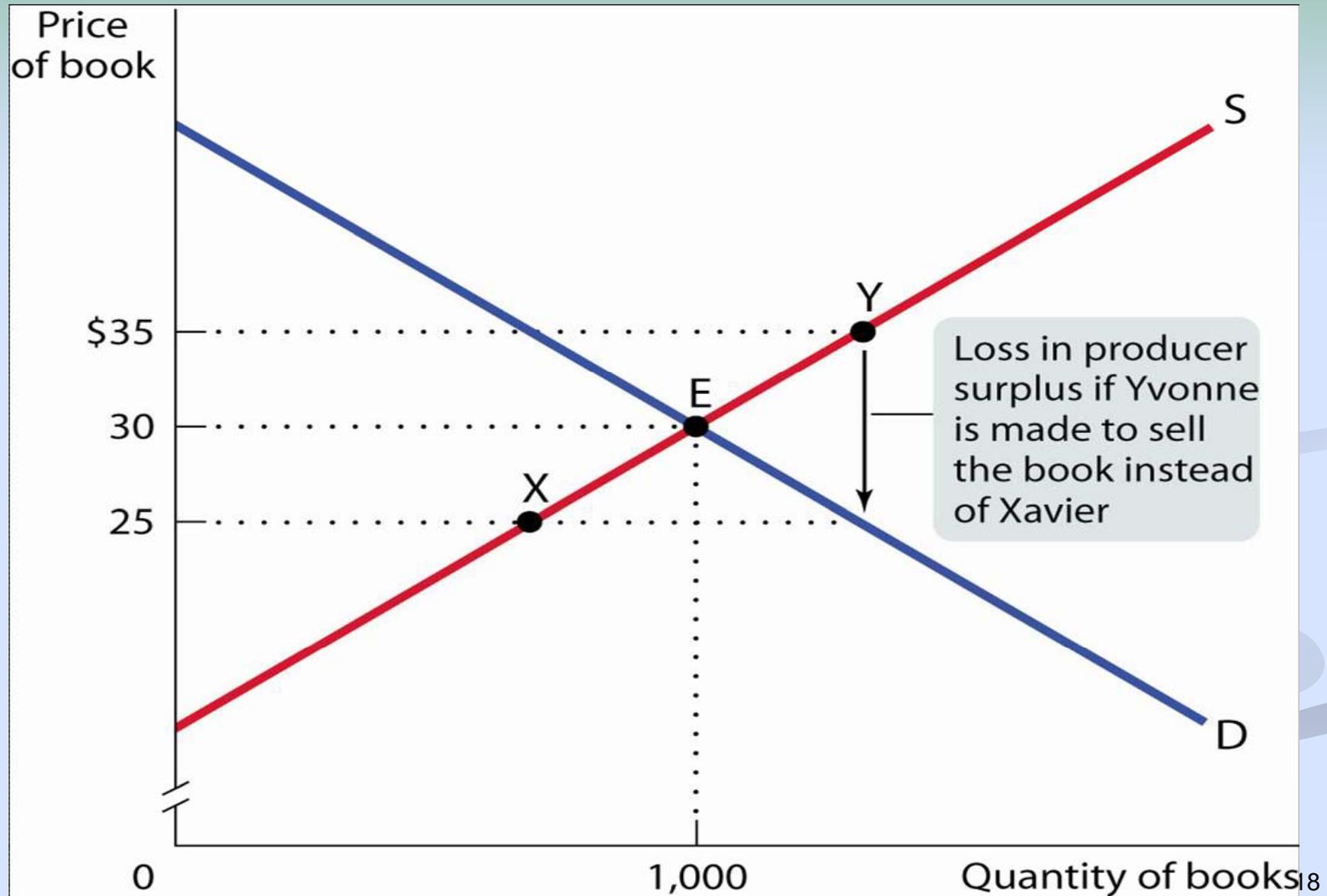
- 市場均衡は最大限可能な総余剰(社会最高可能収益)を社会にもたらしよう、潜在的な消費者の間で消費を割り振り、潜在的な売り手の間で販売機会を割り振っている

→確認してみよう

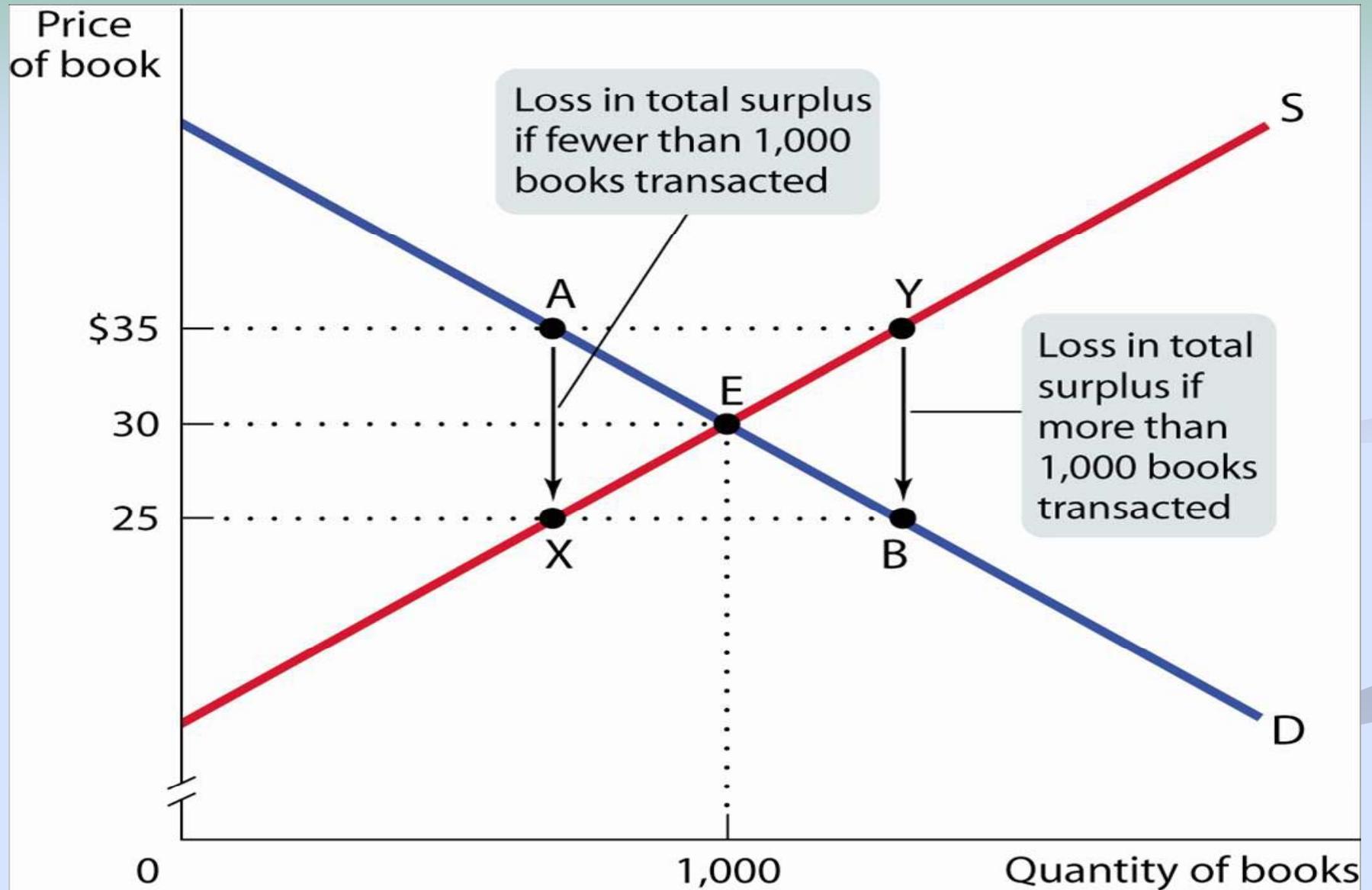
消費の再配分は消費者余剰を減らす



販売の再配分は生産者余剰を減らす



数量を変化させると総余剰は減る



市場の4つの重要な機能(理由を確認)

1. 市場は財を最も高く評価する潜在的な消費者に配分する。
2. 市場は販売機会を財の販売権利を最も高く評価する潜在的な売り手に配分する。

市場の4つの重要な機能(理由を確認)

3. 市場が財を購入する消費者は誰でも財を販売する売り手よりも財を高く評価することを保証する。

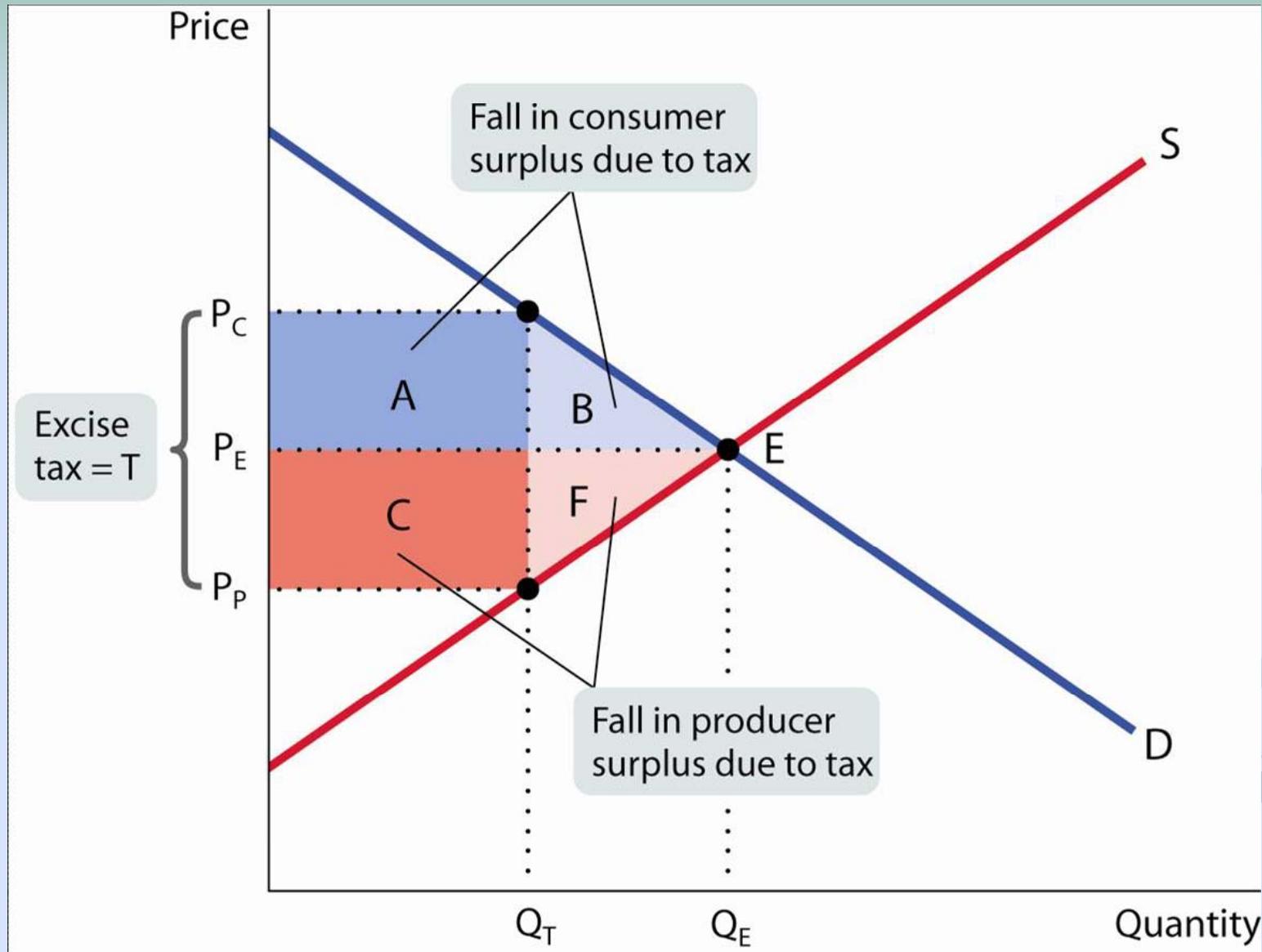
4. 市場が財を購入しない潜在的な買い手は誰でも財を販売しない潜在的な売り手よりも低く評価することを保証する

→ 1~4の結果、市場は総余剰を最大化する。

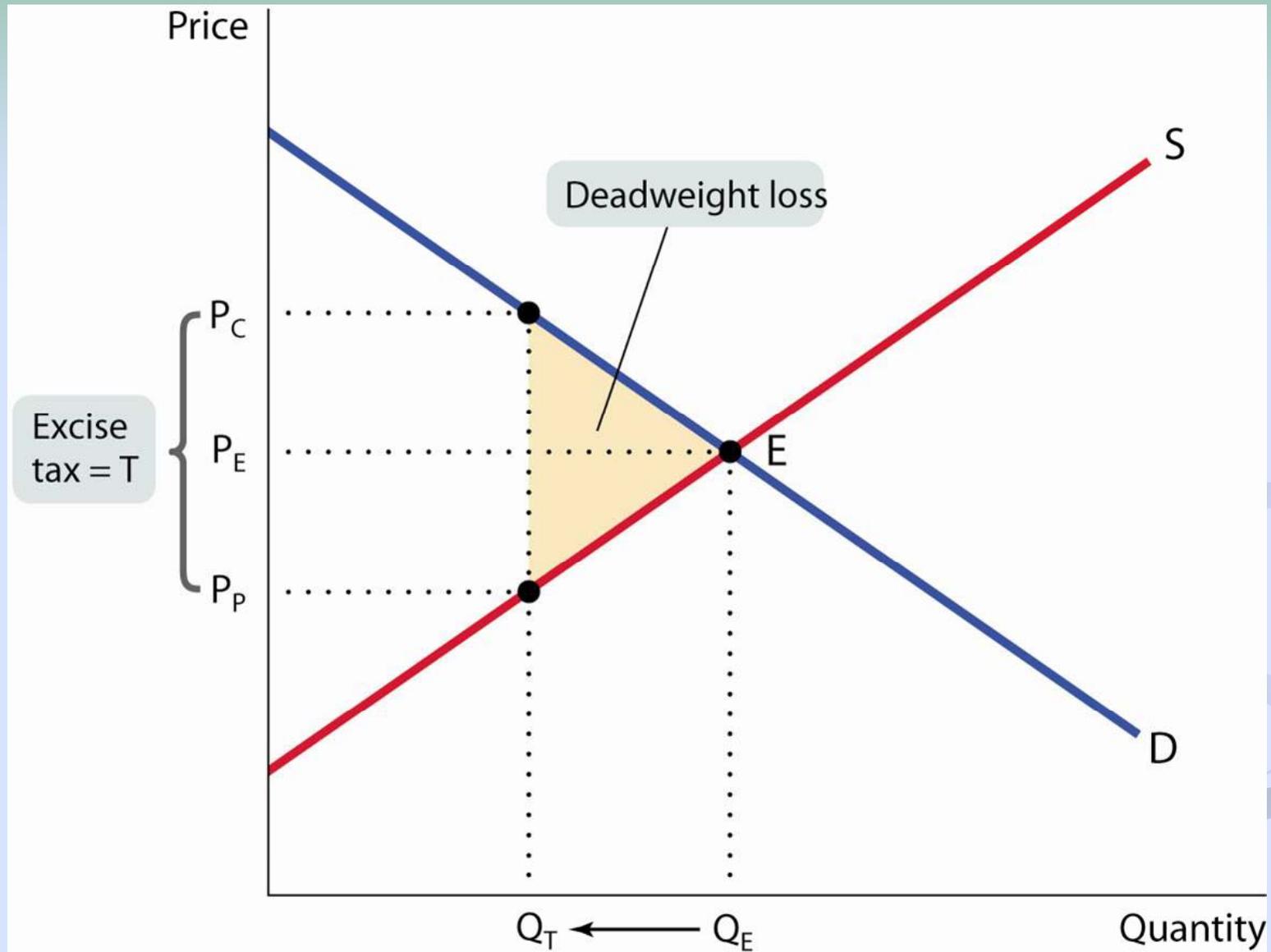
消費者余剰と生産者余剰の応用： 税の効率費用

- 税が課されると、それが無いときに比べて、財の生産と消費が少なくなるので、
- その結果、生産者と消費者の両方に利益がある取引のいくつかが実現しない。
- 社会に**死荷重**が生じる原因となる。

税は消費者余剰と生産者余剰を減らす



税の死荷重



死荷重と弾力性

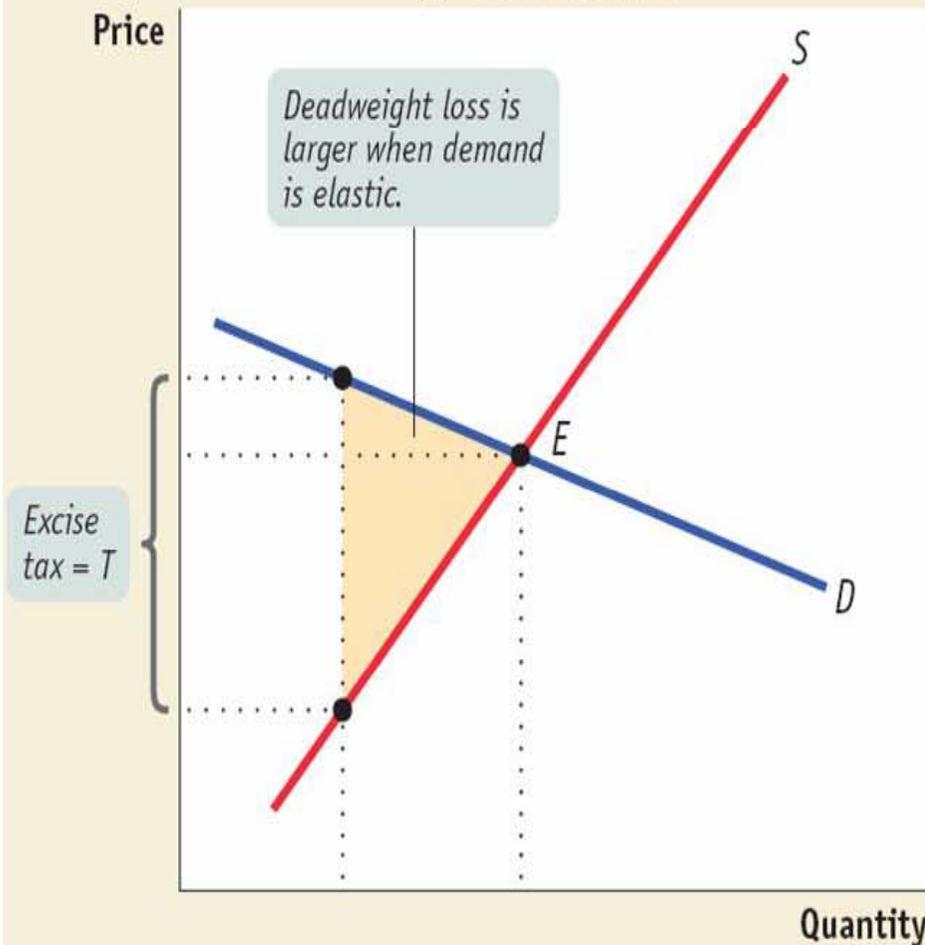
経済政策の一般的なルールは他の条件を一定とすれば、死荷重は最も小さい政策を選ぶというものだ。

だが、ある政策(例:課税)による死荷重の大きさを予測できるだろうか?

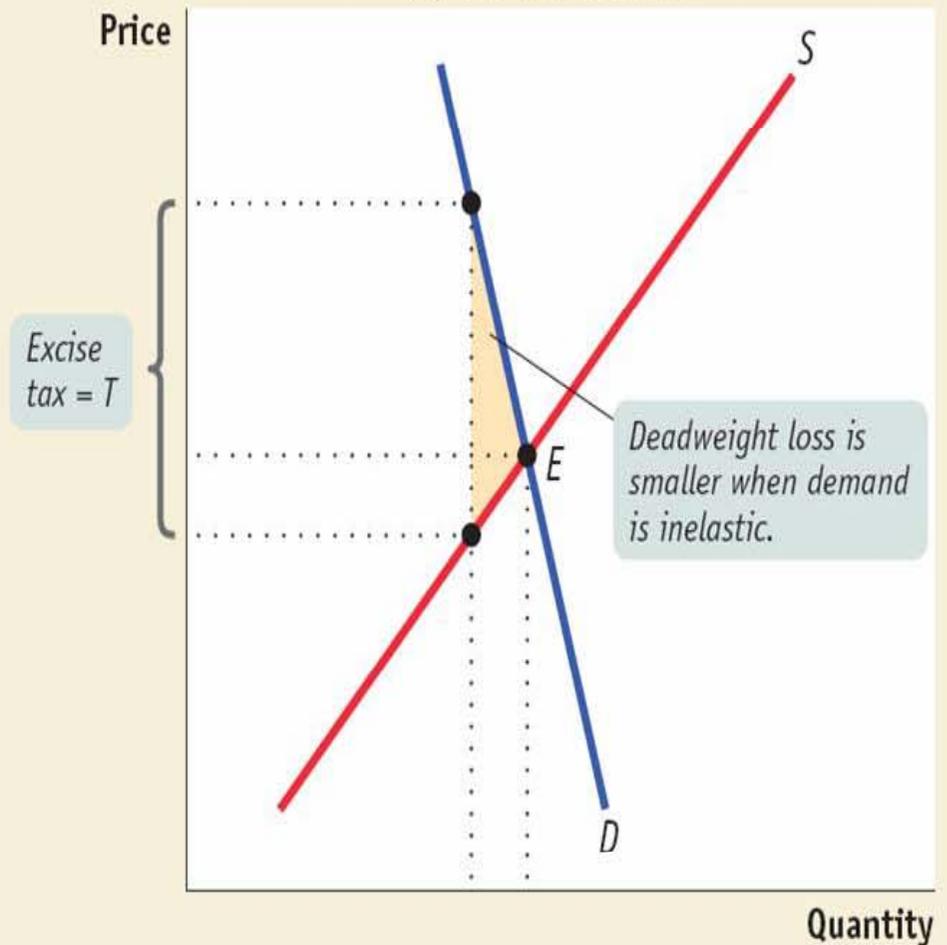
需要弾力的(ELASTIC): 価格変化によって、需要が大きく変化する = 需要曲線の傾きが緩やか

需要非弾力的(inelastic): 弾力的でない = 傾きが急

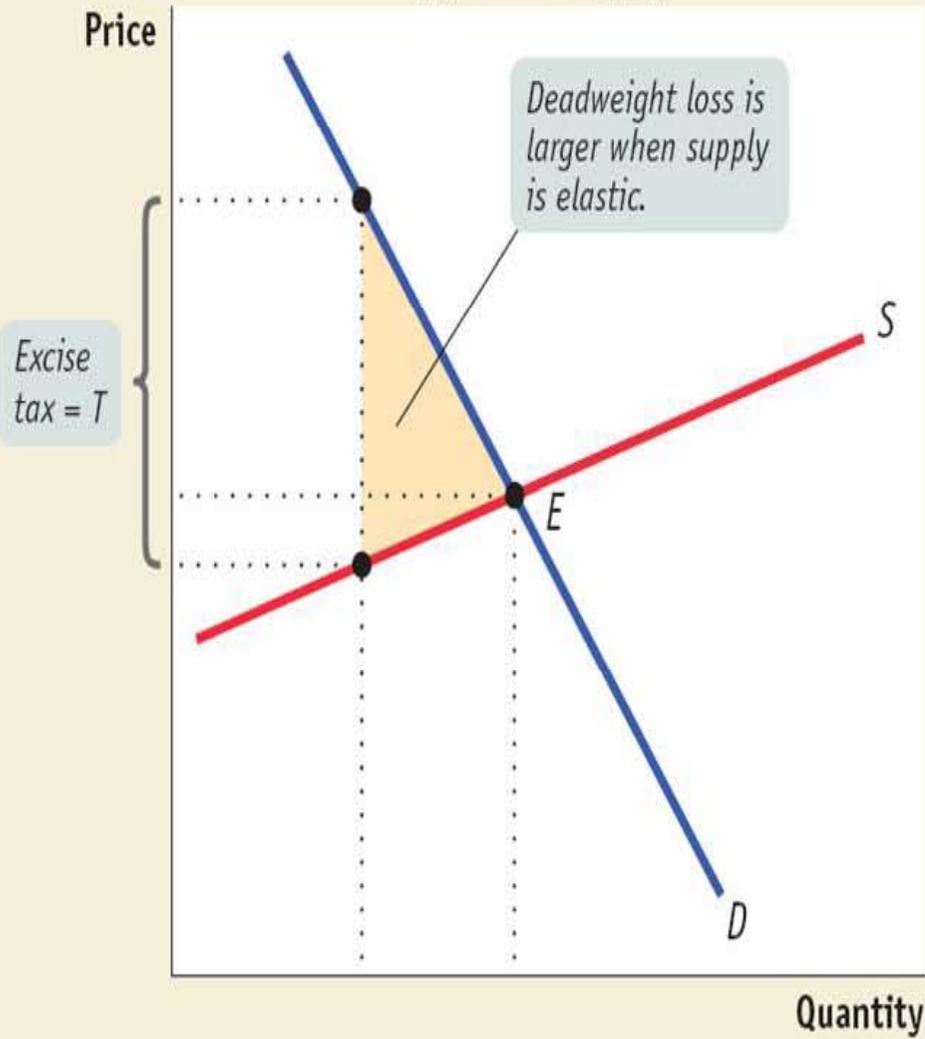
(a) Elastic Demand



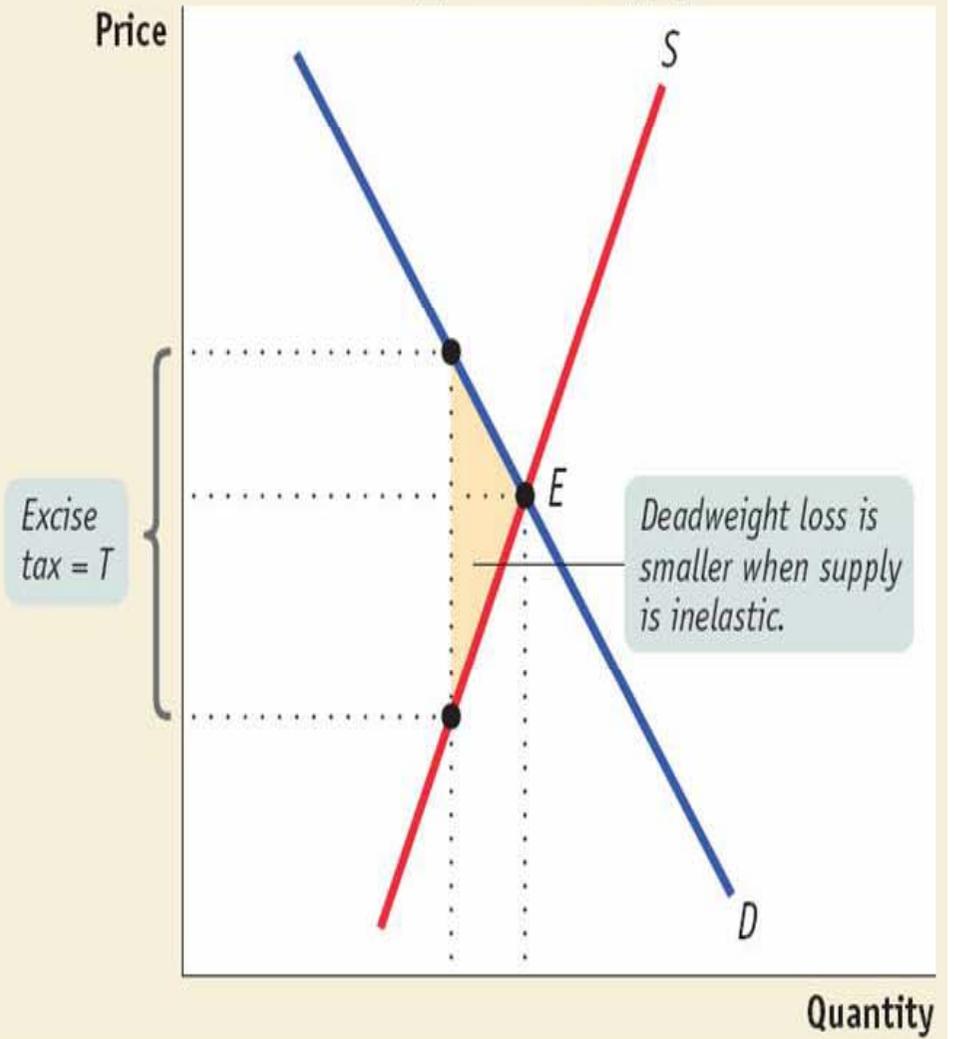
(b) Inelastic Demand



(c) Elastic Supply



(d) Inelastic Supply



死荷重と弾力性

需要や供給が非弾力的（価格によって数量があまり変化しない）なときは、税によって生じる取引数量の減少が小さく、死荷重も小さくなる。

需要や供給が弾力的（価格によって数量が大きく変化する）なときは、税によって生じる取引数量の減少が大きく、死荷重も大きくなる。

贅沢品への課税

日本では消費税導入以前(1980年代まで)、物品税として贅沢品のみに対する課税があった。

効率性の観点から考えると、消費税とどちらが望ましいだろうか？

平等性の観点では？

第6章は終わり

次回は:
第7章:
意思決定